

今月の連載関連本

『BRAIN and NERVE』2019年5月号 (Vol.71 No.5)
NPSLE

本体 2,700 円 + 税 / A4 変判・112 頁 / 医学書院 / 2019

神経精神症状は SLE（全身性エリテマトーデス）患者に高頻度で発症するが、症状が多様で鑑別が難しい。また、SLE では薬物による有害事象が多いため、治療方針の決定も容易ではなく、膠原病内科・脳神経内科・精神科の3つの診療科の連携が重要である。本特集では、それぞれの診療科の考え方を論じてもらい、さらに病態理解に欠かせない神経病理、稀な合併症だが忘れてはならない PML（進行性多巣性白質脳症）との関連性を取り上げ、NPSLE（精神・神経ループス）の診療を行ううえで欠かせない知識をまとめた。